

ぎょうだ

自治連だより

～親しみやすい自治会・そしてもっと身近な自治会～

第95号

行田市自治会連合会
広報部会

編集・発行

防災部会主催の研修会を開催しました



グリーンアリーナ2階研修室 自治会長82名参加

令和6年は、元日の能登半島地震から始まり地球規模で災害が発生しました。

部会では、各自主防災の取り組みの参考になればと11月30日にグリーンアリーナで研修を実施しました。

①危機管理課の職員から、能登地域に開設されている避難所の近況報告をしていただきました。

日本の避難所は諸外国からみると遅れています。阪神淡路大震災以降、女性や

災害弱者に対するトイレが改善したと感じました。

②昨年度の長野地区の防災に関する取組みについて、長野公民館長・長野地区自治会連合会に発表していただきました。

避難場所としての公民館の課題のまとめや、自主防災組織として活動する長野地区のまとめは見事だと感じました。

③日本には、認知症の方が予備軍を含めると700万人いると言われています。認知症の症状やその対応方法について緑風苑の職員の方に説明していただきました。災害時の認知症患者への対応が新たな課題となっているそうです。

(防災部会長 長岡 幸雄)



本丸自治会納涼祭の復活

青年部中心に実施してきた納涼祭、青年部の解散とともに中止していました。

しかし、転入者や若い世代が増加している中、自治会内の交流の機会が無くなっていることが懸念となっていました。そこで、交流の機会を作るため、お祭りの復活をしたいと思います。

実行委員会での話し合い

前向きな議論で進み、子供会や生徒会も加わり準備が進められました。

7月28日の当日は、多くの方に参加していただき賑わいました。5時からビンゴゲームが始まり、5時30分に終了しました。片付けには若いお父さんお母さんも積極的に手伝ってくれてすぐに終わり、大成功の納涼祭となりました。

(本丸自治会 栗原 光夫)

子供会・生徒会との話し合い

土・日の休日、5月の連休などは親子ともに忙しく、新しく行事を作ることには反対であり、もし行事を作るとしても係の責任者ではなくお手伝いとしてほしいという意見がありました。

役員会での話し合い

子どもが喜ぶお祭りにすれば協力してくれる父母の方もいると考え、規模を縮小して開催する方向でまとまりました。



ようこそ行田へ 外国からみた自治会へ

特集

日々活躍されている自治会長から寄せられた身近な疑問や課題を取り上げ、インタビューを通して解決のヒントを得るための新コーナーです。

今回は、行田にほんご教室に通う2人の方に、日本での生活についてインタビューを行いました。行田市にも外国籍の方が多く住んでいます。普段どのような思いを持って生活を送っているのか、考えるきっかけにいただけたらと思います。



レさん

ベトナム出身
来日して4年



アクタさん

バングラデシュ出身
来日して15年



木下さん

行田にほんご教室代表

—日本に来て困った経験は？

レ…日本に来たばかりの頃は、日本語が全く話せなかったので相手は何を説明しているのか理解できませんでした。言葉が伝わらなくて怒っているように見えました。

ア…私も最初は日本語が話せず、コミュニケーションが取れませんでした。言葉が理解できなかった時に職場でいじめを受けたのが辛かったです。

レ…でも今では、わからない時にやさしく教えてくれる近所の方もいて日本の生活に幸せを感じています。

—日本語が分からなかった頃、仕事以外ではどのような面で困りましたか？

ア…電車に乗るときや市役所に行くとき、買物をするときなどいろいろな場面で困りました。日本に来たばかりの頃は翻訳アプリもな



かったので、あまり一人では出かけないようにしていました。

レ…私は、伝えたいことやわからない言葉を事前に調べてから出かけるようにしています。

—宗教や文化の違いで問題がありましたか？

ア…イスラム教徒ですが、宗教の違いは全く問題ありません。1日5回あるお祈りも、休憩時間に合わせて行っていました。

レ…日本とベトナムは文化が似ています。また、ベトナム料理の材料もスーパーなどで買えるので特に困りませんでした。

—ごみの捨て方などのルールはどう知りましたか？

レ…近所の方が教えてくれました。ベトナムでは分別をしないですし、ごみは家の前に置いておくと回収してくれるので、行田市のごみ捨てルールとは全く違います。

ア…バングラデシュでは地域によってルールが違います。ごみの捨て方など母国や地域によって異なるものはわからないので教えてほしいです。

—お祭りや避難訓練などの地域のイベントに参加していますか？

レ…閲覧板で情報を見つけて、お祭りには参加しています。これからも日本で生活したいので、日本の文化が経験できるイベントにはぜひ参加したいと思っています。

「これからも日本で暮らしたいですか？」

ア…はい。子どもは日本で生まれ育っているので、日本の生活に慣れていますし、母国の言葉も話すことができません。そのため、日本での暮らしを続けたいです。

レ…私もこれからも日本で暮らしたいです。周りの人も優しく、日本での生活が好きです。

「これからやってみたいことやみなさんに伝えたいことは？」

レ…色々な国籍の人がいるので、

文化や食について交流のイベントもやってみたいです。

ア…「外国人だから」という偏見を持たず、もう少しコミュニケーションが取れるようになるとお互いに分かり合えると思います。また、英語よりも、簡単な日本語で話してもらえた方が理解できます。難しい単語や曖昧な表現はせず、「やさしい日本語」で説明してほしいです。

「インタビューを受けてくださってありがとうございました！」

行田市では、「やさしい日本語」の普及と活用をしています。身近な外国人とのコミュニケーションにやさしい日本語をぜひ使ってみませんか？

今回ご協力いただいた
行田にほんご教室HP



ボランティア
も募集中です

やさしい
日本語詳細
(県HP)

自治会長研修報告

自治会長研修を開催しました

令和7年1月25日(土)行田市商工センター401研修室において自治会長研修を開催しました。

1部では市役所職員より、行田市公式LINEの活用方法と、行田市防災メールの活用事例について紹介がありました。

2部では、柳坪自治会によるDX戦略と取組みについての紹介をしました。

(4ページ参照)

自治会運営における課題解決に向けた先進的な事例発表が行われました。

日時…令和7年1月25日(土)
参加者…自治会長(122名)



柳坪自治会のDX戦略と取組みについて

柳坪自治会では地区での課題解決に向けてSNSを活用した自治会運営に取り組んでいます。全国的にも類を見ない前提条件として、「システム構築に対する発生費用『ゼロ』化」を掲げており、お金をかけずに、「災害発生時の地域住民の安全確認の重要な役割を担い、常日頃から住民どうしが交流し協力し合える持続可能な地域づくりを目指す」ことを基本理念として取り組んでいます。



自治会長研修における事例発表では、DX戦略導入の経緯からシステム検討と効果の予測に始まり、導入に至るまでの苦労や今後の課題について説明がありました。また、行田市への実証実験を提案し取り組みを市内に広げ、行田市のブランドアップにもつなげたいと意気込まれました。参加された方々から様々な反応があり、会場は熱気に包まれました。



柳坪自治会HPはこちら



柳坪自治会公式LINE
はこちら

ぎょうだ自治連だよりの
電子版はこちらから！

●自治会に関する情報を
発信しています。



編集後記

多様な文化が共存する今日、互いに理解を深め、より良いコミュニティづくりを目指す必要に迫られています。

市内にも多くの外国の方が居住しており、直面している問題についてご意見を伺いました。

また、自治会連合会も、試験的とはいえ自治会長研修が従来と異なる形で実施され、時代の変化を感じています。

終わりに、執筆いただいた皆さまには厚く感謝申し上げます。

(広報部会)

中村 文保